

(記念館内部)



# 長岡半太郎 博士



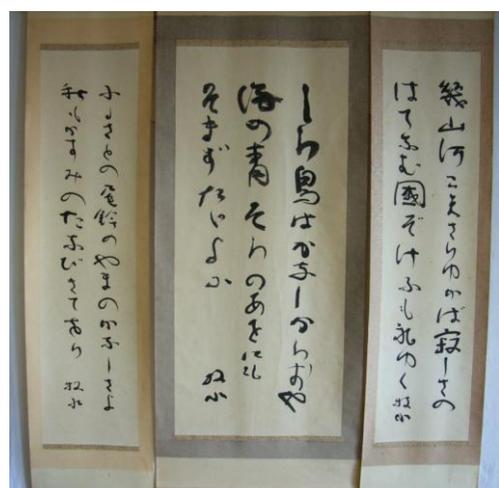
(長岡半太郎博士渡航かばん)



# 歌人 若山牧水



(牧水の書)



(北下浦とのかかわり)

明治42年、横須賀市(当時は三浦郡北下浦村)  
津久井の森崎家のはなれ家でひと夏を過ごし、風光  
明媚、気候温暖な北下浦海岸が気に入リ、翌年長沢  
の農家を土地付きで購入、昭和25年までの40年間、  
別荘として使用していた。  
大正12年の関東大震災は、北下浦で遇い克明な地  
震記録を残している。



牧水夫婦歌碑  
(昭和二十八年建立)  
しら鳥はかなしからずや  
そらの青海のあきにも 牧水  
うちけぶり鋸山も浮び来と  
今日のみちしほ 喜志子  
ふくらみ寄する

海越えて  
鋸山はかすめども  
此処の長浜浪立ちやまず  
牧水文学碑  
(昭和六十二年建立)



(北下浦とのかかわり)

若山牧水は早稲田時代の親友、佐藤緑葉の紹介により、  
大正4年3月19日、妻喜志子の病後療養のため長男旅人  
を伴い長沢の川端の家(齊藤松蔵方)に転居してきた。  
翌5年6月、川端の家の都合により、同所の上の納屋(谷  
重次郎方)に引越すが、12月28日一家は東京小石川に  
引揚げていった。

(牧水の手紙)

